

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工 芸 学 部 : /School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有 : /Available
学域等/Field	/全学共通科目 : /Program-wide Subjects	年次/Year	/2 年次 : /2nd Year
課程等/Program	/実践教養科目 : /Liberal Arts	学期/Semester	/前学期 : /First term
分類/Category	/ : /	曜日時限/Day & Period	/火 2 : /Tue.2

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10412201			
科目番号 /Course Number	10461303			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義・演習 : Lecture/Practicum			
クラス/Class	b			
授業科目名 /Course Title	ドイツ語ⅡA（中級） : Intermediate German II A			
担当教員名 / Instructor(s)	/(南 剛) : MINAMI Tsuyoshi			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
				○
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	下の大括弧内は、旧来のもの。「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください（「最低」だけ除く）。[大学で外国語を学ぶ実用は、必要となったときに辞書をひきつつ文献を読むことができる能力をやしなうことである。ドイツ語を読むことができる基本的能力をやしなうことを、この授業の最大の目的とする。音読重視（基礎習得の近道）。その外国語の表現能力の極致を駆使した、しかもそれにより、思考がなされたかたちとして論理理解である、文学作品を、教材として扱うことがそのためには最も効果的である。しかしここでは敢えて安直に現代ドイツの時事文を扱い（ジャーナリズムの文がじつは文意が文学より明解でない箇所はその指摘だけして目をつぶる）それを手がかりに、いきなり西欧近代、現代ヨーロッパと現代日本についての考察を深める（現代の学生の選好へのぎりぎりの妥協）。 ドイツ語の文献テキストを辞書を引きながら読めるようになることを目標とする。ドイツ語のほんとうの実力（音読を中核とし会話を初歩の楽な手段としての文法と講読の知的実力）の涵養と、現代日本社会の概念的枠組みを作り上げている唯一のものである西欧近代というものの理解を血肉化することと、ドイツ語日本語による文学哲学社会についての広範な必要な読書を指導しつつゲゼルシャフトリヒェ・デパッテーターができる能力を教室内でなくのちの社会内で保証することと、の三座標系を、ドイツ語学習そのもののほんらいあるべき内実として、立体的有機的複合的にめざす。複合の到達の具体指針は、ドイツ・日本理解の進展。 リライトされた平易な教材であり（前期は10章中前半「第1章～第5章」の計5章）、ドイツ文法上・構文上の根ほり葉ほりていねいな解説をしながら、西欧近代の内実在即してドイツを理解することによって日本を照らし出すことによりドイツと日本の社会のそれぞれの問題性にふれる。]
英	Die Ausgezeichnetsten erhalten durch Leiden Freude.

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	ドイツ語の、つづり字の読みの規則の習得。 ドイツ語の、語順の規則の習得。 人称代名詞、指示代名詞、所有代名詞、関係代名詞等の指すものの判断や、その格等の判断。

英	Students should become acquainted with basic grammar. Students should become able to correctly pronounce texts. Students should acquire the reading ability necessary for reading German newspapers, magazines, etc. with dictionaries.
---	---

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	ドイツ語文法・ドイツ語語法を、かなりよく理解できる。 ドイツ語文法・ドイツ語語法を、あるていど理解できる。 ドイツ語文法・ドイツ語語法を、あまり理解できない。 ドイツ語文法・ドイツ語語法を、ほとんど理解できない。
英	Befriedigende Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion Ausreichende Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion Mangelhafte Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion Ungenügende Vermögen der deutschen Gramatik und Diktion

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	ガイダンス回	ガイダンス
	英	Guidance	Guidance
2	日	本体回 1 回目	第 1 章前半
	英	Reading	"DACH" Lesson 1
3	日	本体回 2 回目	第 1 章後半
	英	Reading	"DACH" Lesson 1
4	日	本体回 3 回目	第 2 章前半
	英	Reading	"DACH" Lesson 2
5	日	特別回 1 回目	音読特別回
	英	Special Seminar	Special Seminar
6	日	本体回 4 回目	第 2 章後半
	英	Reading	"DACH" Lesson 2
7	日	本体回 5 回目	第 3 章前半
	英	Reading	"DACH" Lesson 3
8	日	本体回 6 回目	第 3 章後半
	英	Reading	"DACH" Lesson 3
9	日	特別回 2 回目	音読特別回
	英	Special Seminar	"DACH" Lesson 2, 3
10	日	本体回 7 回目	第 4 章前半
	英	Reading	"DACH" Lesson 4
11	日	本体回 8 回目	第 4 章後半
	英	Reading	"DACH" Lesson 4
12	日	特別回 3 回目	音読特別回
	英	Special Seminar	"DACH" Lesson 4
13	日	本体回 9 回目	第 5 章前半
	英	Reading	"DACH" Lesson 5
14	日	本体回 10 回目	第 5 章後半
	英	Reading	"DACH" Lesson 5
15	日	特別回 4 回目	音読特別回
	英	Special Seminar	"DACH" Lesson 5

履修条件 Prerequisite(s)	
日	下の太括弧内は、旧来のもの。「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください（「最低」だけ除く）。24 年度 1 回生授業では成功しました。 【履修の鉄則】 (i) ヨーロッパ語の第二外国語を履修しないと、英語の習得もままならぬのにどこでなく英語使用国際人としては話にもな

	りません。それによってのみ近代の理解ができますが、米英や英語の理解すらこの対照軸を得て初めて可能となります(米英の中等教育修了者全員もこれが自己対象化観点です)。 (ii) ドイツ語は、しっかり努力をすればGPAのために望ましい高得点がむしろ得やすい科目ですから、ふるって履修してください。 (iii) ドイツ語は、毎回の授業に座っていさえすればいいというのとちがって積極的に参加すれば、単位も確保しやすい科目で、同時に大学の学問のレベルでの、集中と努力のよき伴侶となります。]
英	[Hard-and-fast rule of study] (i) It is a must for an English-speaking Japanese active in an international arena to use a second European language at a practical level of proficiency because it will work as a clue to more deeply understand not only the English language but also the American and British modern societies. This view may be shared by the citizens in these two countries who have finished their mid-level education. (ii) Since German is a subject in which students, as a result of their endeavor, may be able to mark a high GPA score, they are invited to take the course positively. (iii) This, however, does not mean that you should only attend the German lessons calmly but it requires you to positively take part in them. At the same time, studying German will provide you with synergetic effects along with other college studies, which will revitalize your concentration and endeavor.

授業時間外学習 (予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	下の大括弧内は、旧来のもの。「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください(「最低」だけ除く)。24年度1回生授業では成功しました。 【【受講の鉄則】】 (i) 第二外国語の授業は毎回の授業に座っていさえすればいいというのとちがって積極的に参加しなければならないし授業終了時刻が経過すれば頭がすでに余事へ切り替わってしまうというようなのではない、他科目以上の各人の集中と努力を要する。 (ii) 第二外国語の文法はしくみの積み重ねだから、そこまでに習った内容はかならず論理的な前提であると考えること。 (iii) 第二外国語は慣れで身につけたいところ時間が間尺に合わないので、重要な点をほぼすべて頭で理解すること、だがさらに逆に、最も重要な点は、頭でなく体にたたき込み口と手の練習で口と手がソラで言え書けるまでにすること。]
英	[Hard-and-fast rule of taking the course] (i) The second foreign language class is not something that allows a student to just sit there during the lessons but urges him/ her to positively take part in them. The student will have to maintain greater concentration and efforts than in any other subjects so that he/she may not forget all about the lesson upon its ending. (ii) The grammar of a second foreign language may become understandable step by step. So, remember that what is being taught in the current lesson is logically continued from what you learned in the previous lesson. (iii) It may be ideal to master a second foreign language by getting accustomed to it but it is often impossible to do so due to a shortage of time. So, you will need to understand all the key points in mind and practice what you learned by using your mouth and hands until you can speak and write without reviewing the textbook.

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	教科書 ディアナ・バイアータグチ『DACH・トピックス10 2025年度版』(朝日出版社) ISBN:978-4-255-25484-5
英	• Textbook: "Menschen in DACH --10 Themen aus den deutschsprachigen Ländern-- 2025" Written by Diana Beier-Taguchi, Asahi Press

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	成績評価については、学期末試験(50%)・平常点(50%)などに基づくものとする。 ドイツ語2単位既得者が学期末試験に出席しないばあい、平常点をそのまま学期末試験の得点としても採用する。
英	Grades will be based on exam results (50%), along with active class participation as seen in attendance, behavior, and contents of responses to questions (50%).

留意事項等 Point to consider	
日	「受講者それぞれの低から高までの関心に応じた受講」をしてください（「最低」だけ除く）。24年度1回生授業では成功しました。 2024年度から、1回生の初級授業が週2回でなく週1回になり、教師側も構成の組み替えを工夫しなければなりません。およそ場面として「お教えできる内容についての考察の進展（本欄への近年の記述文字）による、知的興味の緊張感（私の元々の授業スタイル）」どころでなく、和気藹々とでない、授業構想が不可能であるようです。基本的には「とりあえずはただただ受講者が楽しく、楽な練習をできる」かぎり、あれこれ西欧近代と現代との重要事も、毎回、お示しします。
英	Thorough preparation and review are required for each class.